

## 明治安田生命 2009年度入社式 社長挨拶（要旨）

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、596人（総合職163人、特定総合職※<sup>1</sup>160人、アソシエイト職一般事務コース※<sup>2</sup>273人）の新入職員を迎え、入社式を行ないました。以下のとおり、社長挨拶の要旨をお知らせします。

### 「明治安田チャレンジプログラム」の成否を左右する極めて重要な一年

- 日本経済は、サブプライム問題に端を発した世界的金融危機のなか、大変厳しい状況に直面している。また、少子化に伴う人口の減少等より生命保険マーケットが大きく変化しているとともに、金融機関での窓口販売、通信販売等、販売チャネルでもお客さまニーズに応じた多様化が進んでいる。
- 今年度は、個人営業改革を中心に、お客さま満足度を徹底的に追求し、中長期的な成長路線を確立することをめざす「明治安田チャレンジプログラム」の2年目にあたり、その成否を左右する極めて重要な年であることを認識してほしい。

### 「三者総繁栄」をめざす

- 私たちの全ての判断・行動の基準を常にお客さま目線におくことが、お客さま満足度の向上につながり、強い信頼関係を築くことになるということを理解してもらいたい。
- その結果、従業員の働きがい向上し、会社が発展する、すなわち、お客さま、従業員、会社の三者が繁栄する「三者総繁栄」が実現できると考えている。
- みなさんには、会社のめざす方向性をしっかりと理解し、この改革推進の原動力となってもらいたい。

### みなさんに期待すること

#### 【「コミュニケーション能力」を身につける】

学生時代と違い、これからは、どんな人、どんな状況でも良好なコミュニケーションが求められる。それは、単純な会話ではなく、相手の話に興味を持ち、最後までよく聞くという姿勢のことである。最近、通信手段が便利になっているが、相手と向き合って話すことが、コミュニケーション能力を高める鍵であることを忘れないでほしい。

#### 【仕事に対する「強い使命感」】

生命保険会社には、お預かりした保険料を資産として運用する金融機能の面から、社会インフラとして重要な役割がある。仕事の一つひとつが、こうした重要な機能につながっていることを自覚し、生命保険事業に携わる者としての「強い使命感」を持って取り組んでもらいたい。

#### 【チャレンジ精神を持つ～既成概念に捉われない～】

当社は、時代のパイオニアとして、生命保険の普及につとめるとともに、新しい知恵と感性をもって新しい時代に臨んでいる。みなさんも、フレッシュなアイデアを存分に活用し、既成概念に捉われない大胆な発想で仕事をしてもらいたい。

#### 【最後まであきらめない「熱い心」】

最高のサービスを提供するには、お客さまのために必要と思えることに対して、強い信念を持って、全力で取り組む必要がある。会社人生においては、壁にぶつかることもあるが、簡単に引き下がらず、成功するまで続けてほしい。それが成功体験となる。変化の大きい時代では、従来の方法で成果をあげることが難しくなっているが、だからこそ、最後まで諦めない「熱い心」が不可欠なのである。

#### 【自分をみがく】

会社が求める人材は「自律したプロ人材」である。その人材にみなさん一人ひとりが成長することが会社の成長につながり、みなさんの努力が会社を変えていくものである。そのためには、大きな可能性があるみなさんは、自己啓発に励み、充実した毎日をおくってもらいたい。

※1. 特定総合職は、生命保険事業の中核業務（個人営業・法人営業）を中心に幅広い職務を担当。転居を伴う異動が多い。

※2. アソシエイト職一般事務コース（旧一般職）は、生命保険事業に関わるお客さまサービスならびに事務対応全般を担当。転居を伴う異動が多い。